
小さな願い

シュウジ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
小さな願い

【Nコード】
N1575F

【作者名】
シュウジ

【あらすじ】
切ない片想いしてる男の子の詩です

手も触れられないキミ
大きな窓の向こう側
僕は必死に手を伸ばす
だけど届くわけもなく
空を切る僕の右手

窓の向こう側は雪
真っ白な雪

僕の気持ちも
こんな一面の銀世界になら
今より楽になるんだろうか

窓の向こうで微笑むキミは
とっても素敵だから
僕の気持ちを真っ赤に染める

燃え上がった僕の心
いつそのこと僕ごと燃やしてしまえ

キミに触れられないならせめて
キミへの気持ちごと
この僕を全部燃やしてくれ
僕の心

理性がきかないならせめて
僕を人形にしてくれ
心の無い人形に

なんでキミなんだろう
キミよりキレイな人も
キミより優しい人だって
たくさんいるはずなのに
僕はキミの事しか見えない
キミの事しか考えられない
キミには素敵な人がいて
僕には手の届かないヒトなのに
キミの笑顔を見る度に
僕の心は締め付けられる

なんで出会ってしまったんだろう
世界中の人の中で
キミと出会わなければ
こんな気持ち知らなくて済んだのに

星降る夜の窓の外
キミは何を望むんだろう
僕の願いはただひとつ

キミが振り向いてくれたら
僕は他に何もいらない
名誉も金も全部
でもそれは望んではいけないから
僕はこのままでしかいちゃいけないから

例えばキミが僕の隣には来てくれなくても
世界中でキミと出会えた奇跡
大切にして生きていこう

この小さな奇跡

そっと胸の中にしまって

そう思うと少しだけ楽になった気がした。

かなっていけない願い星にだけ託して

（後書き）

お読みいただきありがとうございました。キツい言葉でもよいので是非コメントお願いいたします。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1575f/>

小さな願い

2010年10月10日07時26分発行